

あとがき

昨年度の報告書に続き、昭和61年度の活動報告書をまとめることができ、少なからずホッとしているのが実感である。

報告書のまとめに際し、分科会内で意見交換を行ったところ、今年度の反省として、

- (1) 若干テーマの捉え方が散漫でまとまりに欠けたきらいがある、
- (2) 時間的制約から突込み不足と思われる、

等の点が述べられたが、日常勤務の合間を縫っての活動であることを思えば、まああの成果であろうと考られる。

来年度の活動方針・内容についての大まかな方針としては、

- (1) 会員の日常業務と両立する様な活動方策を樹立する、
- (2) 具体的なテーマを選択し、目標を絞り込む、
- (3) 新交通／モノレール関連から離れ、他のテーマを選択する、

等が考えられるが、詳細については、今後の分科会内での討議により決定されることになる。

最後に、会計担当として多大な雑事を煩わした名取会員を初め、分科会会員各位の熱心な活動、並びに鋼橋研究会の運営幹事の皆様の日頃の御努力に深く謝意を表します。
(分科会長：友末記)